

ココカラ 合同学習会

令和8年7月27日実施

学校・保護者・関係機関と一緒につながりました



講師：助産師 山下 亜由沙さん

テーマ：性教育をアップデート！

24人の保護者の皆様が参加してくださいました。また地域の助産師さんや自立支援協議会、幼稚園の皆様にもお越しいただき、様々な立場の人が一緒に話しながらの講義でした。障がいのある子どもたちにとっても、自分の権利や気持ちを理解し、伝える力を育てることが重要であることを確認しました。

性教育を単に身体の変化や性に関する知識として学ぶだけではなく、

生涯にわたって自分らしく豊かに生活するための学びとして考える

- 自分の身体を大切にすること
- 相手を尊重すること
- 「いやだ」と言えること
- 相手の気持ちを考えること
- 安全に生活するための知識や技能を身につけること

My Body, My Choice 「自分の身体は自分のもの」

自分の意思が尊重される大切さを表す考え方。

「私たちが知っている性教育(ほとんど学んでいませんが)と今の時代の考え方、ワードなども全然違いがあり、少し自分自身もアップデート出来たように思います。」

「今ちょうど第2次成長期に入ってきていますので、ココカラ学習を学校でもらえて助かっています。家でも同じワードや教え方ができたらいいなと思います。」

「うちの子どもたちは他者への距離のとり方というところからのスタートかなと思いますが、子どもたちへの性に関する教育もどんどんやってほしいです。」

保護者の感想



安心できる 話せる・相談できる

子どもたちが安心して生活し、「自分や相手を大切にできる力」を育む性教育について学びました。人権や自己決定、適切な意思表示などの重要性について理解を深めました。

そして、「学校と保護者」「家庭」でも心と身体について話せることが安心につながることをこの学習会で皆さんが体感しました。



ココカラ学習の充実に向けて

子どもたちにとって深い学びができるような授業つくりのため、教員も教材研究を深めました。



産道体験教材



体のしくみ教材